

講義コード	11C0127000	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	環境計画論2／環境計画B					櫻井 一宏		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	本講義では、わが国の国土計画や環境政策の変遷を把握し、その効果や影響について具体的に学ぶ。特に国土計画に位置付けられた都市・地域開発および産業の高度化などに伴って生じた公害問題、近年の地球環境問題に係わる環境政策や関連する施策の動向について紹介し、今後必要となる政策および計画について検討する。								
到達目標	計画がなぜ必要なのか、また、どのようなものなのかについて、わが国の国土計画などを例にして学ぶ。基本的な計画論とその考え方、さらには公共的な視点からのさまざまな計画や関連政策について理解する。また、それらの計画等が策定されるとき背景や決定プロセスについての知見を得ることで、これからの国土や環境に関して考えることができる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業時に作成したノートをもとにして、当該内容についての確認および理解を深めるための復習を必要とする。また、参考資料やインターネット等を用いて関連する内容についての自主学習を行うことを推奨する。以上の復習および自主学習のために計60時間以上の授業外学修を実施すること。適宜、授業内容に沿って関連する課題を与える場合がある。								
授業計画	【第1回】 イントロダクション 【第2回】 計画とは 【第3回】 さまざまな計画 【第4回】 国土計画の系譜 【第5回】 全国総合開発計画（1） 【第6回】 全国総合開発計画（2） 【第7回】 全国総合開発計画（3） 【第8回】 全国総合開発計画（4） 【第9回】 全国総合開発計画（5） 【第10回】 国土形成計画 【第11回】 広域計画と地域政策 【第12回】 海洋基本計画 【第13回】 沿岸域の総合的管理 【第14回】 これからの計画とは 【第15回】 まとめ								
成績評価の方法	期末試験、授業態度、試験時の態度等の総合評価による。課題提出、小テスト等を評価対象とする場合がある。								
フィードバックの内容	課題や小テストに関する内容等について講評、解説を行う。								
教科書									
指定図書									
参考書	『国土計画の変遷－効率と衡平の計画思想－』川上征雄（鹿島出版会）2008								
教員からのお知らせ	参考資料等は適宜指示する。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、原則として学部学科にて定めるオフィスアワーにて受け付ける。								
その他									